

令和8年子供に関する定点調査「とうきょう こども アンケート」 検討会議（第1回）次第

日 時 令和8年1月8日（木）午後1時から3時まで
開催場所 東京都庁第一本庁舎 25階一般会議室 114

1 開会

2 議題

- (1) 検討会議のスケジュール等
- (2) 2025年調査の振り返り
- (3) 調査設計（案）
- (4) 調査項目（案）

3 閉会

【配布資料】

- 資料1 令和8年子供に関する定点調査「とうきょう こども アンケート」検討会議
委員名簿
- 資料2 令和8年子供に関する定点調査「とうきょう こども アンケート」
第1回検討会議

令和8年子供に関する定点調査
「とうきょう こども アンケート」検討会議 委員名簿

(敬称略、五十音順)

氏名	所属・役職等	
池本 美香	株式会社日本総合研究所 上席主任研究員	外部委員
土屋 隆裕	横浜市立大学教授	
西田 淳志	公益財団法人東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター長	
松原 康雄	明治学院大学名誉教授	
森田 明美	東洋大学名誉教授	
渡辺 由美子	認定特定非営利活動法人キッズドア理事長	
山本 麻里雄	東京都子供政策連携室企画調整部長	内部委員
高橋 祐介	東京都子供政策連携室企画調整部 企画調整課長	
岩瀬 美香	東京都子供政策連携室企画調整部 企画調整担当課長	

令和8年子供に関する定点調査 「とうきょう こども アンケート」 第1回検討会議

2026年1月8日（木）
東京都子供政策連携室

1. スケジュール等(検討会議委員)

<外部委員>

池本 美香 (株式会社日本総合研究所 調査部 上席主任研究員)

土屋 隆裕 (横浜市立大学 教授)

西田 淳志 (公益財団法人東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター長)

松原 康雄 (明治学院大学 名誉教授)

森田 明美 (東洋大学 名誉教授)

渡辺 由美子 (認定特定非営利活動法人キッズドア 理事長)

(五十音順・敬称略)

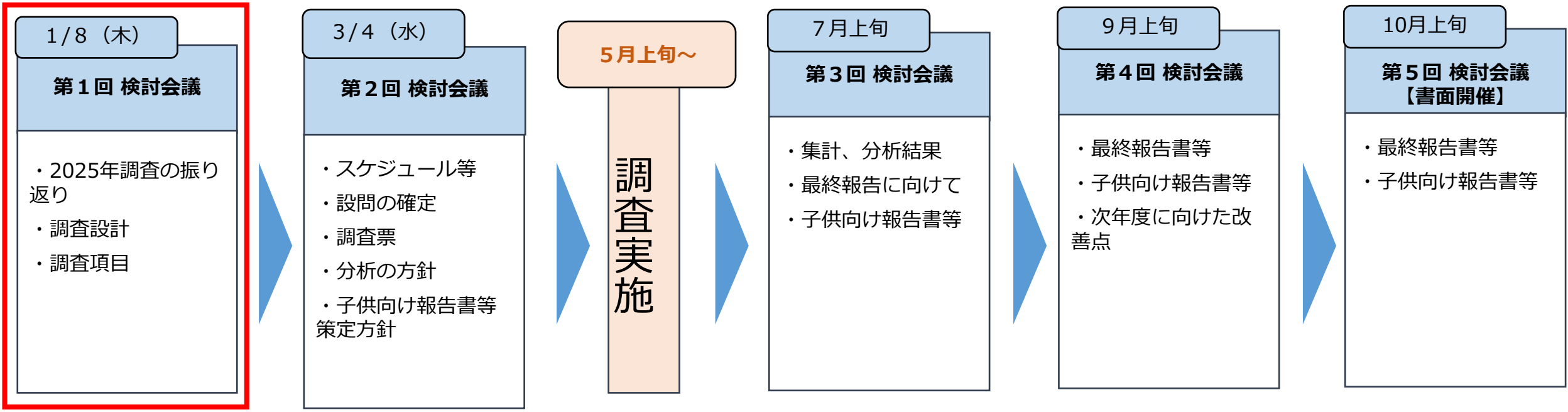
<内部委員>

山本 麻里雄 (東京都 子供政策連携室 企画調整部長)

高橋 祐介 (東京都 子供政策連携室 企画調整部 企画調整課長)

岩瀬 美香 (東京都 子供政策連携室 企画調整部 企画調整担当課長)

1. スケジュール等(会議のスケジュール(案))



<その他>

- ・ 7月末 中間報告
- ・ 11月上旬 最終報告 (プレス発表)

2. 2025年調査の振り返り

調査概要

- ・調査地域 : 東京都全域
- ・調査対象 : 小学3年生、小学5年生、中学2年生、17歳の子供とその保護者並びに3歳児の保護者
- ・標本サイズ : 10,500世帯 (計19,500人)
- ・抽出方法 : 層化二段無作為抽出法
- ・地点数 : 200地点
- ・調査方法 : 郵送法 (郵送配布・郵送回収、WEB (インターネット) 回答併用)
- ・調査時期 : 2025年5月7日 (水) から5月31日 (土) まで
- ・同封物 : 挨拶状、2024年調査結果の概要ペーパー、東京都子ども基本条例ハンドブック、粗品
- ・謝礼 : 回答した子供に対し、「500円の図書カード (小3・小5) /Amazonギフトカード (中2・17歳)」を送付
- ・回収率 : 42.7%

その他

- ・子供たちに調査結果をわかりやすく伝えるため、発達段階に合わせて3種類の子供向け報告書を作成
- ・2023年から2025年までの経年データ (各設問と学年別のクロス集計) をまとめた付属資料を作成

小学3年生版



小学5年生版



中学2年生・17歳版



3. 調査設計(案)

■ 調査地域

東京全域

■ 調査対象別標本サイズ

2025年調査、2024年調査と同様とする

※カッコ内は2025年調査の実績

区分	3歳児 保護者	小3		小5		中2		17歳		合計
		子供	保護者	子供	保護者	子供	保護者	子供	保護者	
標本サイズ	1,500 (1,500)	2,050 (2,050)		1,900 (1,900)		2,150 (2,150)		2,900 (2,900)		10,500 (10,500)
(参考) 2025年回収率 【%】	(54.0)	(49.7)	(46.2)	(50.6)	(47.5)	(41.3)	(39.3)	(34.8)	(32.6)	(42.7)
(参考) 2025年回収数 【件】	(810)	(1,018)	(948)	(962)	(902)	(887)	(845)	(1009)	(945)	(8,326)

■ 地点数

200地点

■ 抽出方法

層化二段無作為抽出法

<層化>
(区部)
【センター・コア・エリア】：千代田・中央・港・新宿・文京・台東・墨田・江東・渋谷・豊島・荒川
【区部東部・北部エリア】：北・板橋・足立・葛飾・江戸川
【区部西部・南部エリア】：品川・目黒・大田・世田谷・中野・杉並・練馬
(市町村部)
【多摩東部エリア】：武蔵野・三鷹・調布・小金井・小平・東村山・国分寺・狛江・清瀬・東久留米・西東京
【多摩中央部北エリア】：立川・昭島・福生・東大和・武蔵村山・羽村・瑞穂
【多摩中央部南エリア】：八王子・府中・町田・日野・国立・多摩・稲城
【多摩西部エリア・島しょ】：青梅・あきる野・日の出・檜原・奥多摩・大島・利島・新島・神津島・三宅・御蔵島・八丈・青ヶ島・小笠原

3. 調査設計(案)

■ 調査期間

令和8年5月8日（金曜）から6月1日（月曜）までを予定

■ 調査方法

- ・郵送法（郵送配布・郵送回収、WEB（インターネット）回答併用）
- ・調査票（子供用、保護者用）と返信用封筒（子供用、保護者用）を各家庭に一つの封筒で送付
- ・送付時のあて名は、子供の名前を明記（対象者を明確にするため）
- ・調査票にIDをふり、親子関係を把握

■ 同封物・謝礼

- ・挨拶状、概要ペーパー(子供向け)、東京都こども基本条例ハンドブック、粗品（※ボールペン及びウェットティッシュを予定）を同封
- ・回答した子供に対し、謝礼（500円分）を送付

■ その他

- ・子供向け報告書を、小3版、小5版、中2・17歳版の3種類作成（子供の意見聴取を実施）
- ・新たに**ショート動画（30秒～40秒程度）**を作成し、子供向け報告書の内容を一部紹介するとともにホームページへ誘導
- ・2023年から2026年までの経年データ（各設問と学年別のクロス集計）をまとめた付属資料を作成

4. 調査項目(案)

■ 基本的な考え方

・以下の8つの調査分野を基に設定

※以下は、2025年調査項目の設問

① 子供自身に関する分野

- ・今の自分は幸せか ・今の自分が好きか
- ・家族との関係は良好か
- ・今悩んでいることはあるか

② 子供の安全安心に関する分野

- ・住む地域で危険な目にあつたことはあるか

③ 子供の遊び場・居場所に関する分野

- ・普段、何をして遊んでいるか
- ・居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）はどれか

④ 子供の学び・成長に関する分野

- ・社会課題について関心があるか
- ・学ぶことが楽しいか

⑤ 子育て家庭支援に関する分野

- ・住む地域は子育てに良い場所か（保護者）
- ・子育ての相談相手の不足に悩んでいるか（保護者）

⑥ 子供の意見表明、参加、権利擁護に関する分野

- ・自分の意見を他の人にしっかり言えるか
- ・困ったり悩んだりしたとき、相談できる人はいるか
- ・東京都子ども基本条例について知っているか

⑦ 社会的情勢の変化に応じた分野

- ・生成AIを使用しているか

⑧ 分析にあたって必要となる基本情報等

- ・スマートフォンが自由に使えるか
- ・家庭内での「家事・育児」の分担はどのようになっているか（保護者）

4. 調査項目(案)

■ 調査項目（案）の考え方

・調査の継続性を担保するため、基本的には2025年の調査項目（設問・選択肢）を踏襲するが、今後の政策の検討に資するような設問の追加や、負担軽減のための削除を一部検討

区分	2025年調査	2026年調査	理由
継続	<p>(17歳・中2) 問13.あなたは将来、子供を育てたいと考えていますか。(1つだけ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子供を1人育てたい 2 子供を2人育てたい 3 子供を3人以上育てたい 4 子供を育てたいとは思わない 5 まだ分からない 	<p>(17歳・中2) 問13.あなたは将来、子供を育てたいと考えていますか。(1つだけ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子供を1人育てたい 2 子供を2人育てたい 3 子供を3人以上育てたい 4 子供を育てたいとは思わない 5 まだ分からない 	<p>未来を担う若年層の結婚や子供を持つことに対する意識を経年的に把握することで、少子化の要因や背景をより丁寧に分析し、効果的な情報発信及び施策の充実につなげるため</p>
継続	<p>(17歳・中2) 問14. あなたが将来、経済的にゆとりがあるとしたら、子供を何人育てたいと考えますか。(1つだけ)</p>	<p>(17歳・中2) 問14. あなたが将来、経済的にゆとりがあるとしたら、子供を何人育てたいと考えますか。(1つだけ)</p>	
新規		<p>(17歳・中2) 問15.あなたは、「子供を育てること」についてどのようなイメージを持っていますか。(いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子供がいると生活が楽しく豊かになる 2 好きな人の子供を持てる 3 親／保護者など周囲が安心する 4 子供を育てることは自然なこと 5 子供をうまく育てられる自信がない 6 お金がかかる 7 自分の時間が取れなくなる 8 自分の仕事（キャリア）や働き方に支障がでる 9 家事や育児の負担が増える 10 まだ分からない 11 その他（自由記述） 	

4. 調査項目(案)

区分	2025年調査	2026年調査	理由
新規		<p>(17歳・中2) 問41.あなたは将来、結婚したいと考えていますか。(1つだけ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 結婚したい 2 結婚したいが、できないと思っている 3 結婚したいとは思わない 4 まだ分からない 	<p>未来を担う若年層の結婚や子供を持つことに対する意識を経年的に把握することで、少子化の要因や背景をより丁寧に分析し、効果的な情報発信及び施策の充実につなげるため</p>
新規		<p>(17歳・中2) 問42.あなたは、「結婚」についてどのようなイメージを持っていますか。(いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 好きな人と一緒に暮らせる 2 親／保護者など周囲が安心する 3 お金に余裕ができる 4 精神的な安らぎの場が得られたり、寂しさを感じなくなる 5 お金がかかる 6 自分の時間が取れなくなる 7 自分の仕事(キャリア)や働き方に支障がでる 8 家事などの負担が増える 9 まだ分からない 10 その他(自由記述) 	

4. 調査項目(案)

区分	2025年調査	2026年調査	理由
削除	<p>(共通) 問45.あなたは次の言葉についてどれくらい知っていますか。(それぞれ1つ) ※ 1「どのようなものか知っている」2「言葉だけ聞いたことがある」3「全く知らない」から選択</p> <p>A 性自認 B 性的指向 C L G B T Q</p>		当該設問で施策検討することは難しいため